

さくら通信

2016年度
第3号
2016年9月発行



RUN伴+やまとに参加しました

病院理念

地域から信頼される、思いやりと礼節のある、患者さん中心の医療の実践

基本方針

- 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
- 医療の質と安全の向上に努めます。
- 24時間体制の救急医療を実践します。
- 丁寧な説明と同意に基づく医療を実践します。
- 連携と協力により、地域に開かれた医療を提供します。

目次 ~ Contents ~

- *おたふくかぜのワクチンは受けなくてもいいの? …… P1
- *年に一度健康診断(特定健診・長寿健診)を受けましょう … P1
- *平成28年度 新入職員紹介 ~バレーボール大会~ … P2
- *平成28年度 新入職員紹介 ~新入職員歓迎会~ …… P3
- *RUN伴+やまと ……………… P4
- *回復期リハビリテーション病棟の「リハビリレクリエーション」 … P5
- *ふれあい健康講座を開催しました ……………… P5
- *看護の日のイベント ……………… P6

おたふくかぜのワクチンは受けなくてもいいの？ 小児科医 柏井良文

6月頃から近隣の幼稚園や小学校でおたふくかぜが流行しています。国立感染症研究所の報告ではこの10年で平成22年に次ぐ流行のようです。病院に来院したお子さんの保護者の方にお聞きすると、ほとんどの方がおたふくかぜのワクチンを受けていませんでした。また、受けなかった理由を尋ねると、「任意摂取だから・・・」と答える人がほとんどでした。



おたふくかぜは唾液腺（耳下腺や顎下腺）が痛みを伴って腫れたり、発熱したりするウイルス感染症です。20～30%の人は不顕性感染といってもかかっても症状がほとんど出ないまま終わってしまいます。一方合併症として髄膜炎（1～10%）、（思春期以降の罹患で）精巣炎（20～40%）、そして永続的な高度の難聴（0.01～0.5%）が知られています。おたふくかぜワクチンを接種すると約90%のかたに抗体価の上昇が得られるため、おたふくかぜにかかることを予防できます（予防効果は1回摂取では十分でないため、現在2回の摂取が推奨されています）。残念なことにおたふくかぜワクチンは任意摂取で定期摂取に含まれておらず、摂取に費用がかかることも摂取率が低い（30%程度）理由と思われる。



水痘（みずぼうそう）も少し前まではワクチンが任意摂取だったため摂取率が低かったのですが、平成26年10月から定期摂取となり、摂取率が上昇したため、水痘野罹患数が減っています。おたふくかぜについても摂取率が90%ぐらいに上昇すれば、罹患数が激減することが予想されます。

現在小児に必要なワクチンではおたふくかぜワクチンの他にロタウイルスワクチンとB型肝炎ウイルスワクチンがまだ定期摂取に含まれていません。このうち、B型肝炎ウイルスワクチンは今年の10月から定期摂取に含まれることが決まりました。残りのワクチンも早急に定期摂取に含まれることが望まれます。

ワクチン後進国であった日本もこの数年でようやく諸外国並みの体制になってきました。ワクチンで防げる病気はワクチンで防ぐことが重要です。定期摂取のワクチンに加えて、任意摂取のワクチンも摂取することをおすすめします。

年に一度健康診断（特定健診・長寿健診）を受けましょう

大和市では40歳以上の方を対象とした「特定健診」と後期高齢者医療制度に加入している方を対象とした「長寿健診」を実施しています。当院では市が実施している健康診断の協力医療機関となっております。

この健康診断は病気の早期発見、早期予防、メタボリックシンドロームの予防を目的としており、通常よりも安い費用（※）で受診できる、アフターフォローとして特定保健指導を受けられる、などメリットがたくさんあります。

普段病院に行く機会のない方も是非この機会に健康診断を受けてみてはいかがでしょうか？当院では予約は必要ありませんので、すぐに受けることができます（受診券を必ずお持ちください）。年に一度の健康診断、ご自身の健康状態を知り、日々の生活習慣を振り返るチャンスです。生活習慣予防のため、まずは健診を受診して自分の健康状態をチェックすることから始めましょう。早めのご受診をお勧めします（特定健診は9月末で終了となります）。

「気づいたときには手遅れ」とならないよう、健康診断を受診し、予防、改善をしましょう。

※受診費用 1,200円（基本のみの場合）

70歳以上は無料

●受付時間 平日 午前 8:00～12:00

午後 14:00～17:00

土曜日 午前 8:00～12:00

●がん検診も併せて受診できます（一部予約制）

平成 28 年度 新入職員紹介 ～バレーボール大会～

今年も、全部で 32 名の新しい職員が桜ヶ丘中央病院の仲間入りをしました。今回は、グループ内のバレーボール大会に参加した職員の中で、4 名の新入職員を紹介します。



【職種】事務職 【名前】今村 祐美（いまむら ゆみ） 【出身地】新潟県

【バレーボール大会に参加した感想】スポーツ観戦が好きなので、とても楽しかったです。病院内で一緒に仕事をしている職員ががんばっている姿はとてもかっこよくて素敵でした。また来年もぜひ参加して、全力で応援させていただきたいです。

【今後に向けての豊富】バレーボールを観戦して、私も何かスポーツがしたくなりました。まだまだ業務など覚えることも多く、大変ですが、その中でも何かスポーツができればいいなと思います。



【職種】リハビリテーション科 理学療法士

【名前】安部 美幸（あんべ みゆき） 【出身地】神奈川県

【バレーボール大会に参加した感想】選手として試合に出させてもらい、とても楽しい思い出になりました。緊張もしましたが、たくさんの応援が励みになりました。また、他職種の先輩とも関わられたので、とてもいい機会になりました。

【今後に向けての豊富】来年もまたバレーボール大会を楽しみに、仕事もがんばりたいと思います。





【職種】看護師 【名前】田辺 裕佳理（たなべ ゆかり） 【出身地】山梨県
 【バレーボール大会に参加した感想】先輩がバレーをやっている姿がとてまっかこよくて、夢中で応援していました。職種関係なく盛り上がり、関わることもできたのでとても楽しかったです。来年の試合もがんばってほしいと思いました。
 【今後に向けての豊富】今年一年目でわからないことばかりで不安もありますが、スタッフの一員としていち早く働けるよう、がんばっていきたいです。この一年で看護技術を身につけ、思いやりを持った看護師を目指したいと思います。

【職種】事務職 【名前】石隈 葵（いしくま あおい） 【出身地】神奈川県
 【バレーボール大会に参加した感想】今回、初めてバレーボール大会に参加したのですが、想像以上の盛り上がりと迫力にとてまっかきました。いろんな職種の方々が一丸となって協力する姿が素敵でした。
 【今後に向けての豊富】バレーボールのチームと同じように、色々な職種の方たちと協力し、患者さんのために、病院のために、仕事に取り組みたいと思います。まだ不慣れなことも多いですが、少しずつ仕事をこなしていきたいです。



平成 28 年度 新入職員紹介 ～新入職員歓迎会～

続いて、新入職員歓迎会に参加した中で、5名の新入職員を紹介します。



【職種】理学療法士 【名前】落水 優介（おちみず ゆうすけ） 【出身地】神奈川県
 【新入職員歓迎会に参加した感想】私たちのために盛大なパーティーを開いてくださり、誠にありがとうございます。院長先生を始め、他職種の方と交流を図ることで、視野が広がり、一層桜ヶ丘中央病院の魅力を感じ取ることができました。
 【今後に向けての豊富】患者様が笑顔で快適に過ごせるように、桜ヶ丘中央病院の看板を背負っていることを自覚し日々精進してまいります。

【職種】検査技師 【名前】脇 葉月（わき はづき） 【出身地】奈良県
 【新入職員歓迎会に参加した感想】歓迎会では、食事の時間やゲームを通して様々な職種の先輩方と交流を持つことで楽しく充実した時間を過ごすことができました。素敵な歓迎会を開いていただきありがとうございました。皆さんに顔と名前を覚えていただければ嬉しいです。
 【今後に向けての豊富】早く仕事を覚えてミスなく仕事ができるように努めたいと思います。検査部そして他の職種の方々とのコミュニケーションを大切に、医療人としてがんばります。



【職種】検査技師 【名前】鬼丸 拓也（おにまる たくや） 【出身地】神奈川県
 【新入職員歓迎会に参加した感想】多くの方々に顔と名前を知っていただく良い機会となりました。他科と関わる機会が少ないため、盛大な会を催していただき、大変ありがたく思います。
 【今後に向けての豊富】良くも悪くも目立つ名前なので、良い意味で知られるようにがんばります。



【職種】作業療法士 【名前】深町 有子（ふかまち ゆうこ） 【出身地】福島県

【新入職員歓迎会に参加した感想】会場や席の配置、ゲームなど様々な配慮をいただき、楽しい時間をすごすことができました。普段はあまり交流をしてない他職種の先輩方とお話する機会となりました。

【今後に向けての豊富】患者さんが「心から笑顔になれる」その一役を担える作業療法士を目指して、先輩方から学び、自己研鑽をしていきたいと思います。

【職種】看護師 【名前】金井 香織（かない かおり） 【出身地】埼玉県

【新入職員歓迎会に参加した感想】他部署、他職種の方々との貴重な交流の場となりました。入職して2ヶ月目に入り、少し慣れてはきましたがまだまだ緊張の毎日だったので、先輩方とお話できたことで安心しました。このような機会を作ってくださいありがとうございました。

【今後に向けての豊富】配属が決まったので、まずは慣れて毎日コツコツできることを増やしていきたいです。ローテーション研修の際に各部署で学んだことや医療機器等の勉強会で学んだことなどを振り返ったり、先輩方から沢山学んで、知識や技術を見につけていきたいです。



RUN 伴+やまと

『RUN 伴+やまと』は、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目標に、たすきをつなぐマラソンイベントです。当院からも14名のスタッフが参加しました。

7月から、いよいよ『RUN 伴』の本線が始まります。今年度は、北海道から沖縄までをたすきでつなぎます。

大和市を通過するのは、9月19日です。



ゴール地点の引地台公園には、約200名の人々が集合。RUN 伴カラーのオレンジTシャツで一色になりました。

回復期リハビリテーション病棟の「リハビリレクリエーション」

今年度から季節を感じるレクリエーションを提供し、患者様、スタッフの交流や楽しく体を動かす機会を得るためにリハレクを開催しています。

第1回のテーマは「夏祭り」！病棟のデイルームにて魚釣り、風船釣り、的当て、ピン倒し、最後は全員で盆踊りを行いました。患者様の笑顔も多く見られ、大盛況でした。



ふれあい健康教室を開催しました

5月28日のテーマは、「ご活用ください、地域包括支援センター！」で、福田北地域包括支援センターの中山毅さんが講師をしてくださいました。ふれあい健康教室初の、外部講師でした。

地域包括支援センターの業務や役割等をわかりやすく説明していただきました。



6月25日のテーマは、「自分の身体を知ろう vol.1」で、当院リハビリテーション科理学療法士の内堀、青木、下名が講師をしました。

参加者全員の歩行能力、バランス能力等を測定したあと、座ってできる体操を全員で行いました。

9月24日 「予防接種について」 健康管理課 為貝 勇人

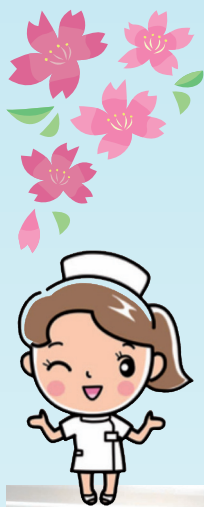
10月22日 「認知症予防と運動」 リハビリテーション科 札野 優

11月26日 「介護予防について」 院長 島崎 猛

12月24日 「自分の身体を知ろう vol.2」 リハビリテーション科理学療法士

看護の日のイベント

平成 28 年 5 月 21 日土曜日、当院で看護の日のイベントを開催しました。新棟移転翌年から毎年開催し、3 度目になります。1 階のラウンジで血圧、血糖、肺年齢測定計測や健康相談、ミニドクター&プチナースの写真撮影会を実施しました。例年に比べ参加人数は少なめでしたが、子供たちの参加は多く、笑顔溢れたイベントとなりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後もふれあい健康教室などのイベントを企画しておりますので、たくさんの方々のご来院をお待ちしております。



詳しくはホームページ <http://www.sakura-hp.or.jp> をご覧下さい

編集
後記

暑い夏も終わり、少しずつ秋めいてきました。皆様、夏休みはいかがお過ごしでしたか？「ふれあい健康教室」や「看護の日イベント」など、地域の皆様に参加できるようなイベントが少しずつ増えてきました。今後も、地域医療に貢献するために、皆様楽しく健康増進できるようなイベントを企画していきたいと思ひます。ぜひ、ご参加ください。

発行責任

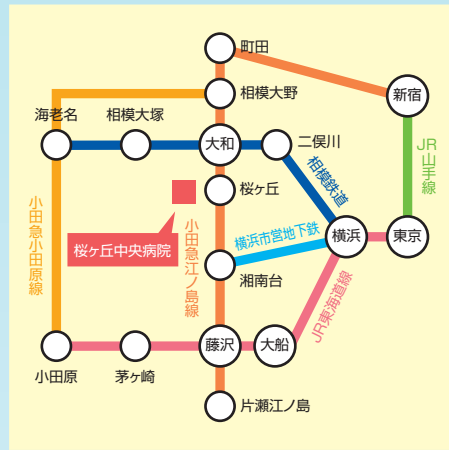
情報管理委員会

■ 車でのアクセス



- 東名高速「横浜町田インター」より40分
- 小田急線桜ヶ丘駅から1分

■ 電車でのアクセス



- 小田急線 (江ノ島線)
新宿駅 ▶ 桜ヶ丘駅 50分
藤沢駅 ▶ 桜ヶ丘駅 17分 * 小田急線 桜ヶ丘駅西口 徒歩3分
- 相模線 (小田急線/大和駅経由)
横浜駅 ▶ 桜ヶ丘駅 33分



医療法人 桜ヶ丘中央病院
社団哺育会

〒242-0024 神奈川県大和市福田1-7-1

TEL 046-269-4111

URL <http://www.sakura-hp.or.jp>

